

こどもの意見の施策反映への取組について

令和 5 年 4 月に施行された「こども基本法」に基づき、本市の「こども施策」を一体的・総合的に推進するため、令和 7 年 3 月に策定した「こどもえがおプラン～出雲市こども計画」を踏まえ、こどもを「ともに出雲市を作るパートナー」として捉え、こどもの意見を聴き対話しながら、その意見を市の施策に反映させる取組を進めます。

1. 意見反映の意義

- ・こどもの状況やニーズをよりの確に踏まえることで、こども施策の実効性を高める。
- ・こどもの意見を尊重する意識が醸成され、こどもが関わる様々な場において、社会参画への取組が進むことが期待される。
- ・こどもにとって、自らの意見が十分に聴かれ、社会に何らかの影響を与える経験は、自己肯定感や社会の一員としての主体性を高めることにつながる。

【根拠法令】 こども基本法第 11 条（こども施策に対するこども等の意見の反映）

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

〈参考：こども家庭庁作成ガイドライン抜粋〉

事業の改善に意見を反映することや、審議会や委員会等の資料とするほか、指針・答申への反映、広報物等の資料の改善等が意見の反映方法として考えられる。

2. 現行の取組

(1) 対面・対話形式での取組（3 件）

市内中学生による出雲市中学生サミット、市長による中学校訪問等

(2) 各種計画策定時等におけるアンケート調査などの取組（10 件）

総合振興計画(高校生アンケート)、こどもえがおプラン(こども向けパブリックコメント)等

【現行の取組の課題】

- ・こどもの意見を聴く分野が限定的であり、対象の拡大が必要。
- ・意見聴取を各課独自の方法で実施しており、全庁的な統一ルールがない。
- ・意見をどう施策に反映したかのこどもへのフィードバックの充実が必要。
- ・職員の「施策反映の意義や必要性」への理解をさらに深める必要がある。

3. 「こどもの意見の施策反映」の仕組みづくりに向けた検討（令和7年度）

現行の取組の課題等を踏まえ、「こどもの意見の施策反映」の仕組みづくりに向け、本年度、各部局横断的な推進組織としてワーキンググループ（WG）を設置し、市職員の意識醸成を図るとともに、実効性ある取組について検討した。

(1) WGの構成：20名（庁内全部局から各1～3名の職員を選出）

(2) 取組内容

- ①こどもの意見反映にかかる講習会
- ②こどもの意見ファシリテーター養成講座
- ③こどもの意見聴取の試行実施
- ④こども・若者の意見の施策反映方法の検討

4. 今後の取組（案）

ワーキンググループ（WG）での検討結果を踏まえ、次のとおり取り組むこととする。

【取組方針】

- ・こども基本法の趣旨を踏まえ、こどもに関わる全ての施策の決定過程において、こどもの意見を積極的に取り入れる。
- ・常に、こどもの意見反映の取組状況を把握し、継続的に情報収集、検証・見直しを行う。
- ・令和9年度からの本格実施をめざし、令和8年度は試行実施として、既存の取組を充実させ、マニュアル化や手順の標準化を図りながら、意見反映の具体的手順を確立させる。
- ・意見聴取の方法としては、経費節減及び事務負担軽減を図るため、Webアンケートを基本とする。また、出雲市デジタルファースト推進計画中に位置付け、AIの活用を検討する。

※意見反映の対象となる「こどもに関わる施策」とは

- ・「こどもえがおプラン」（令和7年3月策定）に掲げる事業
- ・その他、各課でこどもの意見を聴いた方が良く考える事業

※各年度で「意見反映に取り組む事業」は、上記「こどもに関わる施策」のうち

- ・課題となっている事業や新設・見直しを検討している事業
- ・新たに策定または更新予定の行政計画

●**試行実施【令和8年度の取組】**

- ・「こどもの遊び場」や「はたちの集い」など、こどもが関わる事業に対する意見聴取の実施や令和8年度策定に向けて準備が進められている計画等について意見反映の取組の実施。
- ・高校生アンケートや中学生サミットで得られた意見を施策に反映しフィードバックを行う。
- ・上記取組を通し、A Iを活用しながらアンケート作成・集計分析、フィードバック資料作成等の処理手順や共通仕様書を作成。

●**本格実施【令和9年度以降のこどもの意見を施策反映させる取組～5ステップ～】**

ステップ	取組内容	具体的な取組
(1) 企画	こどもの意見反映に取り組む施策を調査・検討し、意見聴取方法を決定する 市職員の意識醸成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体のこどもに関する施策を調査し、意見反映が必要な施策を把握 ・各年度の意見聴取の対象とする施策、意見聴取方法を検討し、決定 ・職員の意識醸成のための研修会等の実施
(2) 事前準備	意見聴取を実施するための設問作成、周知等を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート設問を作成（W e b／紙媒体）、対面形式の場合は聴取内容の検討や会場準備等 ・意見聴取の周知・参加者募集
(3) 意見聴取	W e bアンケートや対面形式でこどもの意見を聴取する	<ul style="list-style-type: none"> ・意見聴取を実施（W e bアンケートを基本） ・こども向け資料の作成、参加者への周知等
(4) 施策反映	こどもの意見を施策に反映し、計画や施策に反映させる	<ul style="list-style-type: none"> ・計画や施策、予算等に意見を反映 ・事業や広報物等の資料の改善に意見を反映 ・審議会や委員会等の資料とする等
(5) フィードバック	こどもに対して、聴取した意見がどう反映されたかをフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・意見聴取の結果と反映内容をまとめ、フィードバック資料を作成 ・フィードバック資料をホームページ等で周知

こどもの意見の施策反映への取組

こどもは出雲市をともに作るパートナー

本市のこどもたち誰もが無限の可能性を持ったキラリと光る出雲の力「出雲力」です。「ともに出雲市を作るパートナー」としてその意見を聴き対話しながら、ともに社会を作っていくことが重要です。

これにより、こどもの意見を尊重する意識が醸成され、こどもが関わる様々な場において、社会参画への取組が進むことが期待されます。

(1) 意見反映の意義

- こどもの状況やニーズをよりの確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになります。
- こどもにとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながると考えられます。

(2) こどもの意見を施策反映させる5ステップ



(3) こどもの意見を施策に反映するために

こどもの意見を本計画に反映したうえで、市職員がこどもの「最善の利益」を優先して政策立案を行うことについて理解を深めるとともに、組織として、こどもの意見を聴き施策に反映し、フィードバックするための仕組みづくりを進めます。

【意見反映の方法（例）】



- ◆ 関係部署へのこどもの意見の共有
- ◆ 計画や施策に反映し、その内容を公開する
- ◆ こどもの意見を実現するための取組に係る予算の対応
- ◆ こどもが直接、施策決定に関わる
- ◆ 事業の改善に意見を反映する、審議会や委員会等の資料とする など



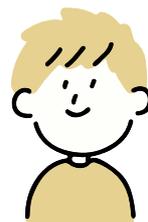
意見を述べるのが困難なこどもがいることを理解し、考慮することも重要です

子どもえがおプラン

～出雲市子ども計画～

いけん ぼしゅう

意見募集!



ここは
どういう
意味なんだろう

もっと
こうして
ほしいな

あなたの声を聴かせてください!!

ぼ ゅう き かん
募集期間

1/14

(火)まで

出雲市では、子どものみなさんが主役の計画「子どもえがおプラン～出雲市子ども計画～」をつくっています。

子どものみなさんにとって、より良い出雲市にするために、ぜひ、みなさんの声を聴かせてください!

みなさんへの質問は

次のページへ



いけんほしゅう
意見募集
ワークシート

質問は3つあります
が、答えたい質問だけ
答えてもかまいません。

答えは、1つじゃなく
てもかまいません

回答方法

右の二次元コードを読み取って
回答してください。



質問 その1

この計画の名前は「こどもえがおプラン」です。

あなたが笑顔でいられるためには、何が必要
ですか？



質問 その2

みなさんの意見でより良い出雲市にして
いきたいと思えます。

もっとこうしてほしいな、と思うことは
何ですか？

より良い出雲市



みなさんからの
意見



質問 その3

計画案を見て、もっとこうしてもら
えたらいいな、などの意見や感想があれば、自由
に書いてください。

こどもえがおプラン「わかりやすい版」
※全部で12ページあります。



※計画本文は、出雲市のホームページに掲載しています。

大人の皆様へ

ぜひ、お子様と一緒に読みください。
また、市のホームページから、計画案の閲
覧や、パブリックコメントの提出が可能です。
右の二次元コードからご覧ください。



? 出した意見はどうなるの？

みなさんから聞いた意見は、これからのまちづくりにいかせるように、
取りまとめでお知らせします。-6-

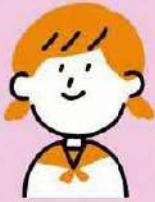
参考資料

「子どもえがおプラン 意見募集」で

聞いた **こえ** 声

アンケートをもっと
して子どもの意見を
大切にしてほしい

イベントを
増やしてほしい



身の回りにもっと楽しん
だり友達と気軽に集まれ
る場所が欲しい

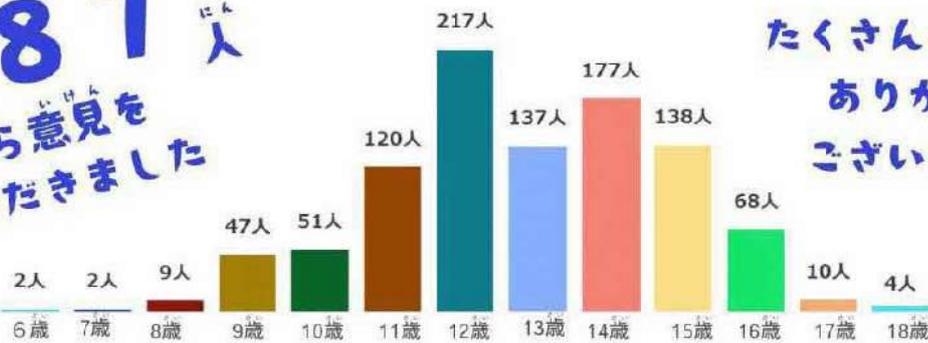


子どもを笑顔にしよう
とする計画は子ども
のためになっていい
と思う!



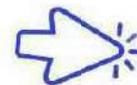
987人
から意見を
いただきました

たくさんのご意見
ありがとう
ございます!



わたしたちの意見はどうなったの？

みなさんの意見がどう受け止められたか
二次元コードを読み取って
出雲市のホームページから
見に行ってみましょう!



【お問い合わせ】 出雲市役所 子ども政策課 TEL:0853-21-6963
kodomo@city.izumo.shimane.jp

「こどもえがおプラン 意見募集」で

聴いた 声

出雲市の今後の取組や
「こどもえがおプラン～出雲市こども計画～」の
参考とするため、こどものみなさんから
意見を募集しました。
いただいた意見の一部を紹介します。
みなさんの声をくわしくまとめた「くわしい版」もあります。

1

はじめに

こどもの意見をまちづくりにいかしていく

こどもも大人と同じように一人ひとり権利があり、声を出す権利があります。

また、こどものみなさんは、出雲市の大切な一員であり、
「ともに出雲市をつくるパートナー」です。

みなさんの声を聴いて、出雲市をより良くしていくことが
行政の大事な役目です。

今回の意見募集でいただいた意見と、それに対する市の考えを
説明（フィードバック）します。

2 みなさんに聞いたこと

3つの質問をしました。

1

この計画の名前は「こどもえがおプラン」です。
あなたが笑顔でいられるためには、何が必要ですか？

2

みなさんの意見でより良い出雲市にしていきたいと思います。
もっとこうしてほしいな、と思うことは何ですか？

3

計画案を見て、もっとこうしてもらえたらいいな、などの意見
や感想があれば、自由に書いてください。



計画案は「わかりやすい版」を見てもらいました



※この資料に書いている回答は、一部編集していますが、できるだけ回答した人の表現で書いています。

クリックまたは二次元コードを読み取ってください。

3 意見を出してくれた人の人数と年齢



実施方法

市内の小・中学校、高等学校・養護学校にチラシを送ったり、市のホームページなどでお知らせして、意見を募集し、インターネットで回答してもらいました。（すべて自由記述式）

募集期間

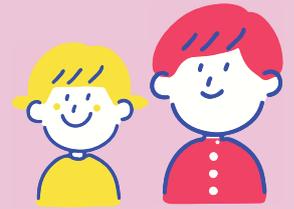
令和6年12月13日（金）から
令和7年1月14日（火）まで

6歳から18歳までの **987** ※ 人の方から回答がありました。

たくさんのご意見、ありがとうございます。

※年齢不詳の方も含まれます。

こえ 声を聴いて・・・



出雲市の受け止め

こどもみなさんが、友達や家族のことを大切に思っていることが分かりました。
 学校や、生活の中で、友達や家族と笑顔でいられるような環境づくりが必要です。
 また、公園や遊べる施設、落ち着ける居場所、勉強できる場所など、いろいろな場所が必要なことが分かりました。

今後のアクション

いただいた意見の「くわしい版」を市役所全体で共有して、今後の取組の参考にさせていただきます。

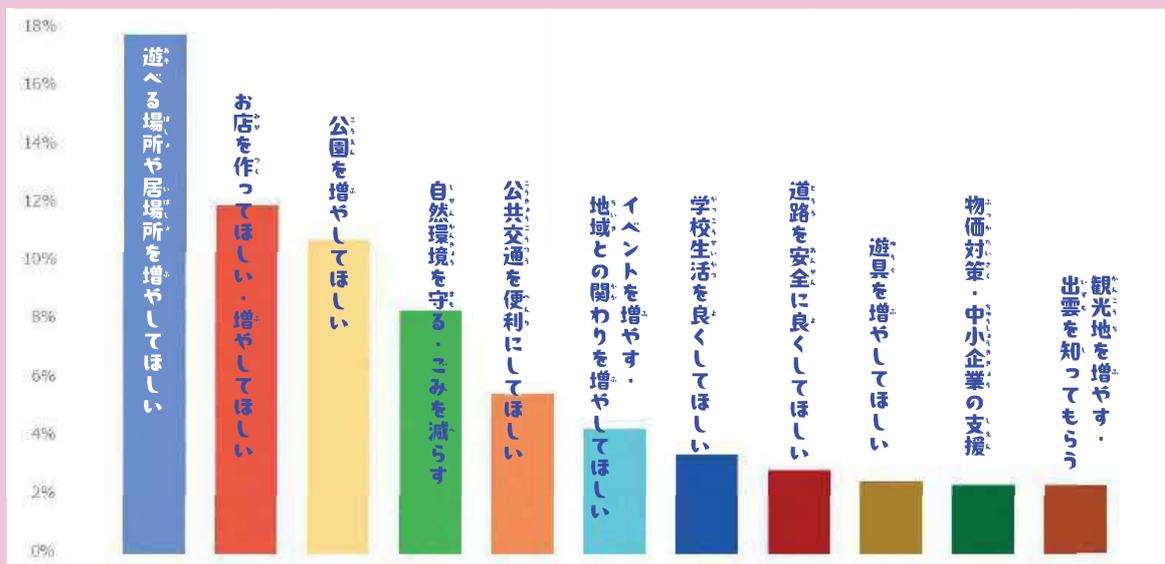
たくさんのご意見、ありがとうございます。

5 みなさんの声 質問2

『もっとこうしてほしいな、と思うことは何ですか？』

そのほかの意見については「くわしい版」をみてください

という質問に対して、このような意見ができました！



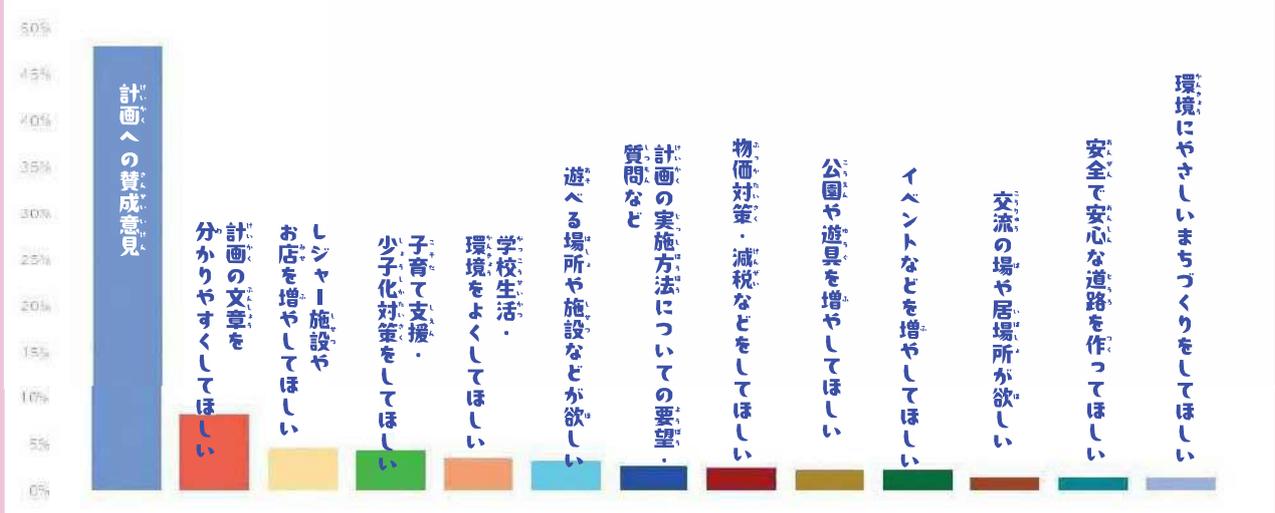
6 みんなの声

質問3

そのほかの意見については「くわしい版」をみてください

「計画案を見て、もっとこうしてもらえたらいいな、などの意見や感想があれば、自由に書いてください。」

という質問に対して、このような意見をいただきました。



計画に 反映 した意見

計画についての意見をたくさんいただきました。

いただいた意見のうち、計画に反映したものについて説明します。

① こどもの権利について

- ジェンダー平等にもっと力を入れてほしい(13歳)
- 多様性を認め合えるように呼びかけをしたらいいとおもいました(14歳)

意見への対応

国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、障がいの有無などに関わらず、一人ひとりが大切にされ、支え合う地域社会の実現をめざしていきます。

計画に意見を反映!!
[4]ページ



② 街灯を増やしてほしい

- 夜が暗すぎるから電柱を増やしてほしい（14歳）
- 街灯の数を増やしてほしい。（15歳）



計画に意見を反映!!
[64ページ]

みなさんがよく使う通学路の防犯灯については、設置や維持管理を行い、安全対策をします。

③ 交流の場や居場所が欲しい

- 交流の場をもっと増やしてほしいです。（12歳）
- 何か困った時にすぐ寄れる安心できる場所が欲しい（11歳）



計画に意見を反映!!
[68ページ]

現在、こどもからお年寄りまで様々な年代の方の交流の場ともなっている「子ども食堂」など、いろいろな「居場所」が増えつつあります。

そんな居場所がみなさんの身近にあるよう、出雲市としてどのように支援していくか、これから考えていく予定です。



④ 遊べる場所や施設などが欲しい（レジャー施設以外）

- 暑い日や寒い日や雨の日に友だちと集まって遊べる場所がほしい。（11歳）
- こどもがのびのび遊べる場所があるといい（15歳）



計画に意見を反映!!
[84ページ]

出雲市内には、いろいろな遊び場やイベントがあります。

知らない人もいると思うので、こどものみなさんにも積極的に情報発信していきます。

今回のアンケートで、みなさんがもっと遊び場や交流の場、イベントを増やしてほしいと思っていることがわかりました。

今後、みなさんがどんな時に、誰と（ひとりでも）、どんな場所で過ごしたいのか、また、どんなイベントが良いのか、もっと詳しく意見を聴いて、出雲市として、どんなことができるか考えていきます。

⑤ イベントなどを増やしてほしい

- イベントのお知らせなどを増やす（11歳）
- イベントを増やしてほしい（11歳）



みなさんが良いと評価してくれたこと

子どもを笑顔にしようとする計画は子どものためになっていいと思う！（10歳）

子どもの意見を聞いて、その意見を市の取組に生かすというところがいいと思いました。（12歳）

（「わかりやすい版」について）わかりやすく見やすかった！こうゆう出雲市が実現してほしい（11歳）

子どもえがおプランのような子育てを支援するサービスが増えれば子どもを産む人が増えて、出雲の少子高齢化が改善されるし、より明るい未来を築けると思うので、とても良い計画案だと思いました。（13歳）

一人ひとりが主人公というところに心意がなりました（15歳）

子どもの一人ひとりが大切に、一人ひとりが主人公なんだよということを伝えようとしていたり、子どもたちがもっと笑顔になればいいという気持ちが伝わってきた。（11歳）

（「わかりやすい版」について）全体的に色が多く、漢字にも全部ふりがなが振ってあってとても分かりやすかった。それに図や表、グラフにQRコードまでついていたから、納得しながら見ることができた。（13歳）

成長に応じて変わる多くの支援があってよかった。（15歳）

ありがとうございます！

子どもだけに限定せず、若い世代の大人も対象にしているところがいいな、と思った（14歳）

出雲の未来の担う子どもたちの政策をしていることを知って出雲の未来は明るいなと思いました。これからもこの政策を続けていてほしいです。（14歳）



7

さいごに

たくさんのご意見をいただき、本当にありがとうございました。

みなさんが、地域とのかかわりやイベントを大切におもっていること、自分たちだけでなく、子育てをする大人のことも考えてくれていることなど、みなさんの意見を聴くことで、みなさんが出雲市をもっと良いまちにしたいと思っていることがわかりました。

みなさんからいただいた意見を参考にして、いろいろな取組を進めていきます。みなさんは「ともに出雲市をつくるパートナー」です。一緒に住みやすい、住み続けたい出雲市を作っていきましょう。

